

1. 基本的なルール・枠組みの構築

- 以下のような事項を**災害情報ハブ推進チームの基本的な合意事項としてルール化**
 - ・ 基本3原則に基づく基本理念（オールジャパン、ICT活用等）
 - ・ 作業部会での議論も踏まえた情報共有等の基本ルール（情報流通のための環境整備、機械可読な整理等）
- 各構成員の具体的取組等、**更なる発展に向けた包括的な取決めの締結**（内閣府・民間委員の代表者レベル）
- **個々の民間との情報流通や災害時連携のための個別の取決めの締結**

2. 重点テーマに係る取組成果等

- **情報カタログの作成**のほか、以下の事項に取り組む
 - ① **被災者の避難動向把握（携帯電話ビッグデータ）**
 - ・ 11月5日に三重県防災訓練にて実証実験
 - ・ 今後は首都直下地震を想定した実証実験を実施
 - ・ 実験を経て実装に向けた技術的制度的課題を整理
 - ② **指定避難所・物資集積拠点等の施設情報整理**
 - ・ 施設等ごとに必要な情報項目を整理し働きかけ
 - ③ **ライフラインの被害状況の一括把握**
 - ・ システム構築に向けた様式等の課題を整理
 - ④ **インフラの被災状況等の把握**
 - ・ 情報毎の在り処を整理したうえで、課題を整理
 - ⑤ **物資供給情報の共有**
 - ・ 物資供給に必要となる情報項目を整理
- **各情報を1つのシステムに集約する取組を試行**

3. 現場で情報収集・整理を支援する官民チーム

- 今年度の九州北部豪雨において、防災科研が現場において関係者から情報を集め、SIP4Dを活用して情報を収集・整理し、現場で閲覧する取組を試行した
- 同様の目的で、**内閣府と「災害情報ハブ」推進チームの民間メンバー有志**によるチームを形成
- **官民のチームによって情報収集・整理を試行するイメージ**（情報収集・整理にはSIP4Dを活用する方向で調整中）
- チーム形成後、**来年度から試行的取組を開始し、チームの役割・位置づけ、メンバーの追加等について課題を精査し、チームの実効性を向上**

4. 災害情報ハブ関係予算のとりまとめ

- 災害情報ハブ関係の予算案の報告